

製品名称	絹ガラス	カテゴリー記号／エントリーNo.	J-2 / 2333
		サステナブル・プロダクト賞エントリー	有 ・ (無)

絹は古代から現代に至るまで、その糸としての質と希少さから大切に扱われ、絹のものづくりに携わる京都の職人達もまた、その糸に見合うよう競って技を磨いてきました。丹精込めて仕上がった加工は、また次の職人がその心を受け取り、その積層を抱えて一枚の着物ができあがります。着物が洋服に取って代わられた現代、そんな営みが消える寸前まで来ています。

絹ガラスはそんな絹のものづくりの文化と技術を引き受け、繋ぐため、産地や職人と連携したひとつのプロダクトとして生まれました。「衣」の素材として使われていた絹はまた、かつて貴族だけのものだった「住」の絹として暮らしに再提案できるものであると考えています。表面的なデザインのインテリアから一歩踏み込み、歴史を織り込んで重ねられる懐を持つ素材としての絹の可能性を模索しています。

絹ガラスのテーブル

引き染で墨色に染めた薄絹に金彩友禅をあしらったもの。透ける蒔絵をイメージしています。



Silk Glass

ITOKO, Kyoto Japan (伊と香)

- 2枚のガラスの間に薄絹を挟み込んだファブリックガラス。透過する生地のためガラスの利点を活かすと共に、両面を意匠面として使用できます。
- 接着のための中間膜は95%以上のUVカット効果があり、万一割れた場合も脱落や飛散をしない安全なガラスです。
- 着物を眺めるように色や意匠はフルオーダーでデザイン提案からお受けしています。



silkglass.jp

